

一般質問通告表

令和3年第2回始良市議会定例会（6月18日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
11. 岩下 陽太郎	1. 若者支援について	<p>令和3年3月に高等教育機関設置に関する調査報告書が作成された。内容はこれまでの調査を丁寧にまとめてあり、大学設置が厳しい状況であることが鮮明になってきているが、最終的な結論を出すまでの調査が終わっていないようにも感じる。</p> <p>この高等教育機関設置のスタート地点は、鹿児島県や始良市に残りたいと願う若者たちへのニーズに応えるものだったと思う。</p> <p>そこで、若者支援に関して、次の内容を問う。</p> <p>(1) 高等教育機関の設置は、これからのどのような調査研究等を行えば、結論を出せるのか。具体的な内容と調査に必要な時間等も含めて示せ。</p> <p>(2) 報告書の中で、若者の地元志向の高さを感じるデータが出てきている。県内の大学等へ進学している人は、最終的な就職先を鹿児島県内に希望している人が多いと判断できた。このニーズに応えるためには、県全体で就職できる企業や起業しやすい環境を整えていくことが求められるが、現在取り組んでいる事業や活動があるのか。また、始良市がどのような役割をしているのか。</p> <p>(3) 県外に進学した人でも、最終的な就職先等を県内としている人もいる。大学を設置して始良市に残らなくても、始良市に戻り生活できる政策が</p>	市長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>あれば、若者のニーズに対応することになると思うが見解を問う。</p> <p>(4) 始良市育英会奨学金は、貸与型で対象となる条件や返還期間なども柔軟性がないように感じる。今後、奨学金の要件等について、変更する予定はないのか。</p> <p>(5) 調査結果の中で、「企業における業務及び事業展開・成長に重要な専門知識分野」がまとめられており、現在の鹿児島県における産業構造やこれから求められるスキルなどが把握できるものであった。この情報を基に、教育委員会において小中学校における総合学習や公民館講座などの生涯学習など、市民のスキルアップや人材育成を行っていく考えはないのか。</p> <p>(6) 若者のニーズに応えるためには、行政の政策だけでなく、家庭や地域との連携が必要である。しかしながら、各家庭の家計に関してはなかなか踏み込めない部分も多い。特に、お金に関する不安により進学を諦める若者も多く、鹿児島県はこの部分で大学進学率が上がらないとも言われている。</p> <p>そこで、保護者や若者にも早いうちから、マネー教育等が必要であると考えるが、市として実施または検討している事業等はないのか。</p>	
12. 堀 広子	1. G I G Aスクールの構想の影響と対応について	(1) 文科省が進めている学習用タブレットは無線接続の無線周波数電磁波だが、電磁波に敏感な子どもへの健康被害が懸念されている。対応策をどのように考えているのか。	教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. コロナ感染症に関わる国保税の減免制度について</p>	<p>(2) デジタル教科書へ変わる方向性も出ているが、スマホやタブレットの長時間使用による視力の低下が問題になっている。早期に対策を講ずるべきではないか。</p> <p>コロナ禍の影響で、国保税の納付が困難な場合に活用できる特例減免制度が4月以降も延長される。ただし昨年と違い、国は減免分の全額支援は行わず、特別調整交付金（補助）の財政支援になる。2021年度も減免制度の存続を求めるがどうか。</p>	市 長
	<p>3. 性的少数者の方々への配慮について</p>	<p>(1) LGBTなど性的少数者へ配慮し、公的書類の性別欄を削除し固定的なジェンダー意識を変え、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めたらどうか。</p> <p>(2) 性的少数者のカップルを公的に認める「パートナーシップ制度」の導入について、昨年の質問後の検討と計画について問う。</p>	市 長
	<p>4. 木田・岩原の江湖周辺、松原地区周辺の大雨時の浸水対策について</p>	<p>(1) 木田用水の水門の開閉は、どのような体制と仕組みで、どのタイミングでその操作を行うのか。</p> <p>(2) 宇曾木川の取入れ口、湯の谷川の取入れ口を大雨時には閉めて用水へ水が乗らないようにする必要があるのではないか。</p> <p>(3) 水門の開閉は、遠隔操作ができるようにできないか。また、これを行う工事費はいくらぐらいか。</p> <p>(4) 湯の谷川から木田新中を経て弥勒に流れる用水については、県道に最接近する場所から、場外ボートレース場、</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>コカ・コーラの前を通過して、別府川に抜けるようにバイパスを作る考えはないか。</p> <p>(5) 松原堤防の調整池を覆っている樹木、雑草、土砂など年次計画（5年程度）を立て、全て撤去して調整池として最大の機能を発揮させるべきではないか。その計画と実現について問う。</p>	
13. 有川 洋美	1. 福祉バスについて	<p>福祉バスは、旧町時代より親しまれてきた。始良市が誕生し、福祉バスは引き継がれ市民に活用されてきた。しかし、無料だった福祉バスは今年度より有料になった。助成制度は新設されたがバス借上げ料の2分の1、上限2万円の補助である。しかも補助金の交付は年に1回のみである。合併から10年が過ぎ、市民サービスが後退することになり、非常に残念である。</p> <p>そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 福祉バス管理事業の歴史と理念を述べよ。</p> <p>(2) 合併後の福祉バスの利用実績を示せ。</p> <p>(3) 福祉バスとして、市民で構成する団体に無料で貸し出していたものを、福祉関係団体研修等バス補助金というやり方に切替えた理由を述べよ。</p> <p>(4) バス補助金を2分の1、しかも年1回の交付に決めた根拠を示せ。</p> <p>(5) 市民サービスの継続のために、一部助成ではなく、市が福祉バス事業として民間委託を行い、無料にすべきであるとするが、見解を示せ。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 障害者雇用について	<p>「鹿児島労働局は26日、障害者雇用率の達成に向けた採用状況に改善が見られないとして、阿久根市、姶良市、天城町の3市町に対し、障害者雇用促進法に基づく適正実施を勧告したと発表した。」という記事が、2021年3月27日付けの南日本新聞に掲載された。労働局によると姶良市2.02%だったとのことである。残念な結果だったと言わざるを得ない。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 今回の結果に対しての見解を問う。</p> <p>(2) 法定雇用率2.5%を2020年末までに目指す採用計画を立てたが、姶良市は達成することができなかった。その原因、理由を示せ。</p> <p>(3) 本市における障害者雇用の現状を民間も含めて示せ。</p> <p>(4) 今後、目標を達成するために、どのような取組を行なっていくのか。</p>	市 長
	3. 福祉避難所について	<p>「新しい福祉避難所の受け入れ制度において、直接避難も可能になった」という内容の記事が5月24日付けの南日本新聞に掲載された。内閣府は運営に関するガイドラインを改正し、市区町村に周知したとのことである。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 内閣府より周知された新しい福祉避難所の受入制度を説明せよ。</p> <p>(2) 福祉避難所の受入に向けて、整備を進めてきていると思うが、現状と課題を示せ。</p> <p>(3) 実効性のあるものとするためには、現場（避難所となる事業所、当事者とその家族、支援者等）との調整が重要であると考えている。今後の計画を示せ。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4.生活保護について	<p>貧困は、誰でも陥る恐れのある生活問題である。そのセイフティネットの一つに生活保護がある。生活保護は、生存権保障を規定した憲法25条の理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対して、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限の生活を保障すると共に、自立を助長することを目的とした施策である。しかし、現実と生活保護法との間に乖離が見られる。貧困の中で苦しむ市民を救うため生活保護を含む市の取組を示せ。</p>	市 長